

## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No. 2 - 5)

<b>件名</b>	ミキサ・セトラ仮蓋からの溶媒の漏えい							
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 分離建屋: 補助抽出器</p> <p>(2) 発生の状況 ウラン試験中</p> <p>(3) 概要 除染用スチームジェットの起動に伴い、溶媒(TBP(リン酸トリブチル)及び希釈剤(ドデカン))液面の振動による、仮蓋からの漏えい</p> <p>* 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な漏えいの発生が予想される。</p>							
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 分離建屋換気設備が稼働しているセル内での事象及びそれに伴う除染・復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 分離建屋換気設備が稼働しているセル内での漏えいであり、また、漏えいはドリフトレイの液位高の警報等により、温度上昇はミキサ・セトラの温度高の警報により検知し、漏えいした有機溶媒は定められた手順に従って回収することにより、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 漏えいした液体の回収等の除染・復旧作業に当たっては、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 有機溶媒の漏えいに伴い、補助抽出器の運転に影響が生じる。</p>							
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 当該スチームジェット及びミキサ・セトラの運転を停止するとともに、当該機器及びドリフトレイの汚染を除去する。</p> <p>(2) ミキサ・セトラとの間に隙間が生じないよう適切に仮蓋を取り付ける。</p> <p>(3) 仮蓋の取り付け状態を確認後、定められた操作手順に従い運転を再開する。</p> <p style="text-align: center;">アクティブ試験以降は蓋が溶接されているため、同様のトラブルは発生しない。</p>							
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)							
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">                 国際評価尺度 (INES) のレベル                  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>                  放射性物質の外部放出                  放射性物質による汚染、被ばく等                  運転制限範囲からの逸脱等                  多重防護の劣化             </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転系統を切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質の外部放出 放射性物質による汚染、被ばく等 運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化	(b) 運転系統を切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止	
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質の外部放出 放射性物質による汚染、被ばく等 運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化							
(b) 運転系統を切り替えて復旧								
(c) 当該機器を停止して復旧								
(d) 当該設備を停止して復旧								
(e) 影響範囲の設備を停止								

